

みえ福祉第三者評価結果

第三者評価機関名

株式会社三重銀総研

施設・事業所情報

名称：竹野の森こども園	種別：保育所
代表者氏名：園長 青木 啓道	定員（利用人数）：130名
所在地：三重県鈴鹿市竹野町 305-2	
TEL：059-384-3215	
ホームページ：http://www.mecha.ne.jp/~ishi-ho/	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：平成 17 年 6 月 1 日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人愛児の会	
職員数	常勤職員：22名 非常勤職員：12名
専門職員	調理師 5 名、看護師：1 名
施設・設備 の概要	保育室 6 部屋、多目的ホール、調理室、医務室、相談室、事務室 学童保育室 2 部屋

理念・基本方針

< 保育理念 >

子ども一人ひとりの発達の多様性をしっかりと受けとめながら、実り豊かな乳幼児期を送れるよう、利用家庭や地域と共に歩む保育園を目指す。

施設・事業所の特徴的な取組

- ・夏場は裸足保育、そして寒い時期は乾布摩擦と、当保育園が掲げる保育目標の一つ「健やかな身体をつくる」の実践として丈夫な体作りを継続的に取り組んでいます。
- ・仏寺住職である法人理事長が毎月、袈裟をまとい、園児全員に「ありがとう（感謝）」の気持ちを伝える講話をしています。
- ・郷土出身の歌人 佐佐木信綱の顕彰会と連携した行事等が行われており、郷土文化の伝承にも力を入れています。なかでも毎年開かれる「信綱かるた」大会では、園児が短歌の暗記をして臨んでいます。

第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成 28 年 9 月 1 日（契約日） ~ 平成 29 年 3 月 24 日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	0 回

総評

竹野の森こども園は、自然豊かな鈴鹿市竹野地区の田園地帯の中にあり、園舎はカラフルな外観で屋内も明るい色で統一されています。当保育園は、鈴鹿市から「地域子育て支援拠点事業」の委託を受け、乳幼児を持つ親とその子どもが集い、育児相談などを行う場を設けている他、放課後児童クラブを敷地内で運営するなど、地域の福祉拠点として大きな役割を果たしています。

特に評価の高い点

- 郷土出身の歌人 佐佐木信綱の顕彰会と連携した行事が行われており、なかでも毎年開催される「信綱かるた」大会では、子どもたちが短歌の暗記をして臨んでおり、郷土の文化や伝統を知る機会を通じて、郷土を愛する心を育てています。
- 食物アレルギーを有する子どもへの食事の提供は、単にアレルギー食材を除去するだけでなく、代替食材により献立を工夫し、一般食と違いのない給食を楽しむことができるよう配慮されています。利用者アンケートでは、アレルギーへの配慮など、丁寧な対応を評価する意見が多くみられました。
- 安心・安全な保育サービスの提供に向けて、ヒヤリハットや事故報告が丁寧に記録されており、その内容や発生場所、時間帯などのデータを収集・分析し、職員間で情報共有を図ることで、子どもたちの安全対策に取り組んでいます。

改善を求められる点

- 苦情解決の体制について改善を求める意見が利用者アンケートでみられました。今後は、保護者等が苦情や意見・要望を申し出しやすい工夫を行うとともに、苦情等の内容や解決結果等について、苦情等を申し出た利用者に配慮したうえで公表するなどの手順を整備されることを期待します。
- 防犯・災害対策については、定められたルールに従って対策がとられていますが、利用者アンケートでは対応を不安視する意見がみられました。今後は、対応状況を保護者へフィードバックする等、利用者の安全・安心を更に高める取り組みが望まれます。
- 職員の更なる意欲と能力向上に向けて、保育目標で目指す姿を職員一人ひとりの能力開発目標に落とし込み、それを定期的を確認・評価する仕組みの構築が望まれます。

第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

これまでの保育内容等について自己評価を進めるなかで、あらゆる視点から多くの課題について検討がされ評価結果を得ました。

この評価結果を受けて、これまで培ってきた当園の特性を活かしながら、改善すべきところは改善を図り、利用者の視点にもたち、「保育の質」の向上に努めていきます。尚、情報の開示にも努め、定期的を確認・評価するシステムの構築を図ります。

第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。